

NEWSLETTER

中 嶋 ゼ ミ の 会

東京都北区西ヶ原4丁目51番21号
〒114 東京外国語大学
中嶋 嶺雄 研究室
電話 03(917)6111内線322

NO.8 1982.11.18.

持啓 立冬が過ぎ、朝夕はだいぶ肌寒くなってきた
今日此頃ですが、いかがお過ごしですか? / 中ソ接
近・フレジネフ死去・アンドロポフ後継就任など、大
きなニュースが続いております。中嶋先生もテレビ取
材等でお忙しい様子です。 / 就職活動も一段落。
卒論の季節がやって来ました。卒業生諸氏に負けない
ようにと、心だけは焦るのですが筆の方はさっぱり。
やはり、卒論を提出するまで正月は来ないようです。
第8号のニューズ・レターをお送りします。

—— 主な内容から ——

2. 頁 …… 会計係よりお願い

3. 頁 …… 新会則についての報告.

4. 頁 …… 幹事会の報告

5.6 頁 …… 『歴史と未来』合併号の反響・お知らせ 他

〜会計より〜

☆ セミの会会費(5,000円)未納の方は、

12

月末日 までにお願いたします。

<振込み先>

三井銀行 巣鴨支店 (店番号 184)
口座番号 4126456
口座名 「中山島ゼミの会」

☆ なお、会則の改訂により、『歴史と未来』第8・9号合併号に執筆された方々の代より、同誌への論文執筆料最低一口(54円)以上、また、入会金として1万円をいただくことになりました。(詳細は3頁参照) どちらの方も宜しくお願い致します。

—— 会計 中間報告 ——

- ・ 収入 約 55万6千円 (会費延べ49人分、『歴史と未来』の広告料 他)
- ・ 支出 77万 円 (『歴史と未来』印刷代金)

その他、同誌郵送料、文具代等あり。

☆ 『歴史と未来』の支払いに際しましては、多くの方々よりご協力いただきました。本当にありがとうございました。

「ゼミの会」新会則成立！

今年9月3～5日の「夏の合宿」で開かれた臨時総会で、「中嶋ゼミの会」会則改正が討議された結果、新会則が成立したのでご通知申し上げます。

この会則は、旧会則3.の条文に準会員資格を含め、更に7.終身会員及び8.『歴史と未来』執筆者負担の項目を新たに加えたものです。

以下、とりあえず旧会則(『歴史と未来』第6号参照)との相違部分に限りて記載致します。

3. 会員 及び 準会員

A. 「ゼミの会」の会員資格は次のとおりとし、入会金1万円を事務局に納めることによって会員となる。

(1) 中嶋ゼミにおいて卒論を執筆した者。

(2)、(3)は旧会則に従う。

B. 中嶋ゼミで卒論を執筆しようとする学部4年生、及びその他特に希望する学部在学学生は、会費3千円を支払うことにより準会員となれる。準会員には、『歴史と未来』、『ニュース・レター』が無料配布され、又、「ゼミの会」諸活動への参加が認められる。

7. 終身会員

希望により、一括7万円の会費を納めることにより、終身会員となる。但し、本国に帰国する留学生の終身会費は3万円とする。

8. 『歴史と未来』執筆者負担

『歴史と未来』に寄稿する会員は、すべて一律に、最低一口5千円の掲載料を納めるものとする。なお、寄稿者には一口につき『歴史と未来』5冊を進呈する。

新会則は、昭和56年4月に溯って適用する。

以上。

幹事会からのお願い

去る11月5日、中嶋嶺雄研究室にて、第3回幹事会が開かれ、いくつかの問題について議論した結果、以下の通り、会員の皆様の協力を求めることになりました。会員諸兄諸姉の快いご協力を希望致します。

＜お願い その1＞

『歴史と未来』販売ルート開拓のため、今年から新たに都内他大学の生協にも『歴史と未来』を置いてもらうことになりました。どの程度売れるものか、まずはやってみようと思います。

会員の皆様の中で、もしもどこかに『歴史と未来』を沢山買って下さるような心当たりのある方は、是非ご一報下さい。

＜お願い その2＞

研究室では、「中嶋ゼミの会」会員名簿の改訂版を何とか今年中に完成し、皆様にお届けする方針で作業をすすめております。今度の名簿では、会員が転居しても連絡が確保できるように、帰省先の住所も併記することになりましたので、同封のハガキに必要事項を記入の上、ご返信下さいませよう。よろしくお願い致します。

＜お願い その3＞

来年はいよいよ『歴史と未来』第10号を発行予定です。当ゼミ誌のような同人誌的性格の雑誌が10号まで続いてきたこと自体快挙であり（世間では3号で沈没が普通）、これを機に、何か面白い、すてきな企画を組みたいものと考えています。

会員の皆様の自由なアイデアを大々募集します。なお、10号では、1号から8・9合併号までの総目次を付けることが決まっています。

以上、幹事会からのお願いに
よろしくご協力下さい。

読者の声

『歴史と未来』第8・9合併号発行後、各方面から暖かい激励のお手紙が続々と研究室に寄せられてきております。ここに、その一部をご紹介します。(敬称略)

◆貴誌を手にしていつも感じますことは、中嶋先生の卓越した多面的な才能と組織力、そして貴会の皆さんの旺盛な研究心等です。じっくり拝読させていただきます。(谷川 榮彦)

◆大変面白く拝見。同時に、極めて活発なゼミ活動がうらやましく思えてなりません。長い間、私もゼミを持ってきましたが、未だかつてこんなに活気のあるゼミを経験していませんのぞ。(市古 宙三)

◆中嶋ゼミの雰囲気全誌面に生き生きと感じられる編集で、感銘を受けています。(石井 米雄)

◆美しい切手のたくさん貼ってある思いがけない郵便物を帰宅早々開くと、中から出てきた絵のある表紙、中嶋さんの「ウィリアムズバーグにて」、「巻頭言」、それから目次に並んでいる記事の題目をみていくうちに吾識らずひきこまれて、夕食も忘れて通読させていただきました。新聞記者や銀行員となられてその体験を語っておられる方々の文章はほんとに面白くて感動しました。これは、不特定多数の読者相手ではなく、信頼しあつたゼミの仲間内へ報告として書いておられるからだと思ひます。こういうものを読ませていただいて感謝感激のいたりです。またすでに就職されていろいろな企業で働いておられる方々が国際関係に関する論文を出版されているのも頭の下がる思いがします。こういう方々は、忙しい勤務のあいまにも勉強をつづけられ、国際問題に生きた興味をもちつづけられる方々であらうと思ひました。

このような文集の発行を可能にしておられる中嶋先生の情熱およびゼミの学生の皆さまのご努力に敬意を表します。

どうか今後ともがんばって下さい。

(蒲地 典子)

その他、次の方々からお手紙をいただきました。

《学外の先生》今堀誠二、衛藤藩吉、小川芳男、金山宣夫、土井久弥、外山滋比古、羽生三七、坂野正高、平野健一郎、本間長世、山田辰雄 (以上、五十音順)

《学内の先生》田島宏、新田実

林みどり

《OB》Michele Miller、浜口牧子、遅野井茂雄、井尻秀憲、木村卓司

お知らせ

◇『歴史と未来』が国際登録刊行物に

このたび、国立国会図書館逐次刊行物部から、『歴史と未来』に対し、ISSN（国際標準逐次刊行物番号）が割り当てられました。ISSNは逐次刊行物に付与される国際的なコード番号で、これは大変喜ばしいことです。次号からは、この番号を各号に印刷していくこととなります。

◇中嶋先生の近刊紹介

11月下旬、光文社カッパビジネスから『中ソ同盟の衝撃』が発売されます。注目の中ソ和解を解明した、タイムリーな好著です。是非、ご一読を！

◇中国・東アジア研究会開催

当研究室では、10月から月1回、若手の研究者、ジャーナリスト、ゼミOB、院生、学部生らが集まって、中国を中心とするアジアの国際情勢について研究会を開いております。気鋭の若手研究者の発表の場を提供しており、学生にも大変刺激になっています。



◎OBの方々のご消息から

最近、ご結婚のニュースが次々に舞いこんできます。今春には平山亮さんが、先月には川副泰治さんがご結婚されました。そして、今月末から来月にかけて、小泉聖子さん、伊藤努さんが、相ついでめでたくゴールインされます。

おめでとうございます。



次号にご期待下さい！